



新日本フィルハーモニー交響楽団

Annual Report

アニュアルレポート 2006～2007

## Contents

■ごあいさつ	1
■新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール	2
■役員・評議員・顧問・団友一覧	3
■楽団概要・楽団員一覧	4
■2006～2007年 日々の活動	6
音楽芸術の普及向上	
日本の芸術文化の発展に寄与	
社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及	
日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献	
■公演&活動	8
附: 自主演奏会記録	10
アウトリーチ活動記録	16
委託演奏会	17
シリーズ別来場者数	17
音楽指導実施校	17
■パトネージュシステム	18
附: 演奏会収支概略	20
■財務データ	22
■特別支援企業・特別支援団体・賛助会員・維持会員	23
新日本フィルを支えるすみだの会	会員一覧

## ■ごあいさつ



皆さまには、平素より私ども新日本フィルハーモニー交響楽団にご協力、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。本アニュアルレポートでは、2006年4月より2007年3月までの活動、財務など当楽団の概要についてご報告いたします。本誌が当団に関する皆さまのご理解の一助となれば幸いです。これまで皆さまに対しましては、その都度のご連絡、ご報告にて当団に関する情報をお伝えさせていただいてまいりましたが、このようなアニュアルレポートをご覧いただきますことによりまして、より一層のご理解を戴けるものと存じます。私どもの日々の演奏活動と併せまして、財政的にも多額の運営資金を必要とするオーケストラの環境をご理解賜り、今後の活動をより活発にし更に充実させるために、今まで以上に皆さまのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
理事長 宮内 義彦



私が音楽監督になってからのこの5年間を振り返ってみると音楽的には高い成果を上げることが出来たと思っています。しかし、一方では私が目標とする、日本から世界へ発信する、世界レベルのオーケストラに新日本フィルになるにはあらゆる面で今まで以上の努力が必要だと考えております。音楽面では勿論音楽監督である私が全責任を負って邁進する所存です。皆様方をお願いしたいのは同じ「夢」を持って頂くことと、それを支えて下さる経済的ご支援です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
音楽監督 クリスティアン・アルミンク



「一緒に音楽をやろう」という気持ちで仲間たちと始めたオーケストラも35年を迎えました。時間の流れと共にオーケストラを取り巻く環境は変化して行きます。指揮者もソリストも聴衆の皆さんも世代から世代へと変って行きます。でも、「新日本フィルハーモニー交響楽団」というオーケストラは皆さんがそこに「喜び」や「安らぎ」を感じて、必要だと思っていただいている限りいつまでも変ることなく存在します。演奏家も作曲家も指揮者もオーケストラ無くしては仕事は出来ません。オーケストラもご期待に応えられるよう努めてまいります。温かいご支援をしていただいている皆様に感謝いたしますと共に、今後とも新日本フィルハーモニー交響楽団を永きに亘り応援していただけることをお願い申し上げます。

財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団  
桂冠名誉指揮者 小澤 征爾

## ■新日本フィルハーモニー交響楽団プロフィール

1972年、指揮者小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。

定期演奏会では、声楽・舞台作品や20世紀の曲重視で独自の路線を歩み、さらに朝比奈隆によるベートーヴェン、ブラームスの交響曲全曲演奏やワーグナーの楽劇「ニーベルングの指輪」の邦人初演等々で聴衆の支持を得、小澤征爾オペラ・シリーズ、カザルスホールでの「室内オーケストラ・シリーズ」、ロストロポーヴィチによる「ショスタコーヴィチ・フェスティバル」、井上道義の指揮による「マーラー・ツィクルス～交響曲全曲演奏会」等で注目を集めてきた。

1997年より「すみだトリフォニーホール」を活動の本拠地とし、同ホールのステージで日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチャイズを導入。すみだトリフォニーホールとサントリーホールでの定期演奏会、また数々の特別演奏会のほか、地元の学校体育館でのコミュニティー・コンサート、小中学校の音楽授業や各種施設を訪問するミニ・コンサートなどで地域に根ざした演奏活動も行っている。

最近の主な活動として、1998年に小澤とロストロポーヴィチの指揮でロシア公演を行い、日露親善に努めた。2001年にディープ・パープルやロックギタリスト、イングヴェイ・ヨハン・マルムスティーンとの協演や、宮崎駿アニメ「千と千尋の神隠し」の音楽を担当するなど話題を集めた。2002年夏、創立30周年を記念して、ゲルハルト・ボッセの指揮で「ベートーヴェン・ツィクルス～交響曲全曲演奏会」を行い高い評価を得た。また日中国交正常化30周年の記念事業として小澤征爾の指揮で、中国北京にてオペラ「蝶々夫人」の公演を行った。2004年5月にはスペイン公演を行い現地でも高い評価を得た。

2003年9月1日から、ウィーン生まれの若冠31歳(就任当時)の気鋭のクリスティアン・アルミンクを音楽監督として迎え、爾来クリスティアン・アルミンクのもと、優れた企画と充実した演奏で活発な活動を続けており、好評を得るとともに更なる飛躍が期待される。2006年には「火刑台上のジャンヌ・ダルク」が第3回三菱信託音楽奨励賞を受賞。定期演奏会ではシーズン・テーマを掲げ、現代曲を積極的に組み合わせるなど、個性的なプログラミングが強い支持を集めている。



Photo: K. Miura

■ 役員・評議員・顧問・団友一覧 (2007年3月31日現在)

理事長	宮内 義彦			
副理事長	日枝 久			
専務理事	森 千二			
理事	浅利 慶太 梶原 健司 豊田章一郎 山崎 昇	池田 弘一 小林 陽太郎 塙 章次 和地 孝	大賀 典雄 佐々木 元 増田 宗昭 【50音順】	奥 正之 庄子 幹雄 森 英恵
監事	中村 芳夫	三好 正也		
評議員	出光 昭介 小澤 征爾 庄山 悦彦 堤 清二 萩原 道彦 松下 武義 諸橋 晋六	岩沙 弘道 小野 敏夫 鈴木 茂晴 中村喜久男 久石 讓 峰岸 壮一 山崎 富治	牛尾 治朗 佐治 信忠 鈴木 正 長妻 和男 平岩 外四 森川 敏雄 【50音順】	氏家 純一 清水 仁 鈴木 道夫 成田 豊 福原 義春 森下 洋一
永久桂冠顧問	<u>石川 六郎</u>			
顧問	坂田 俊夫			
理事長補佐	永田 浩治			
名誉首席	鈴木 清三	山口 浩一	峰岸 壮一	
名誉団友	<u>奥山 澄雄</u>			
団友	<u>ルイ・グレーラー</u> 山崎 恵裕 山口 恭範 瀬戸 瑤子 山口 裕子 市岡みゆき <u>植木 三郎</u> 千葉 肇 毛利 恭三 磯崎 陽一 田中 成行 酒井 紀子 守山ひかる 柴田 乙雄 中谷 孝哉 黒田 絵奈	福田 和子 斎藤 明 <u>榊原 栄</u> <u>田中 栄一</u> 牛尾 京子 古川原裕仁 関川 純二 鈴木理恵子 <u>成田 土</u> 岡谷 治夫 勝亦 健 猪狩 光弘 ゲルハルト・ワルブレヒト 会田 省三 西本 徳子 原 雅道	長谷川 修 福田日出彦 大津千代子 宮崎 隆男 草地 一義 常光 誠治 中畑 幸子 植草ひろみ 根津 規子 松原 勝也 古賀 慎治 栃窪 文雄 三界 秀実 光信 利彦 牧田 斉	福崎至佐子 木村 茉莉 <u>裕川 雅雄</u> 井口 久美 松波 恵子 <u>小川内一彦</u> 高瀬 晃也 宮川 暉雄 杉江 弘伸 松原千代繁 山崎 聡 <u>白尾 偕子</u> 篠原 辰夫 支倉二二男 玉之内 勉

## ■ 楽団概要 楽団員一覧 (2007年3月31日現在)

創立	1972年			
音楽監督	クリスティアン・アルミンク			
桂冠名誉指揮者	小澤 征爾			
ミュージック・アドバイザー	ゲルハルト・ボッセ			
フレンド・オブ・セイジ	ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ			
永久指揮者	齋藤 秀雄			
音楽監督	久石 譲 (新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ)			
<u>ソロ・コンサートマスター</u>				
崔 文洙				
<u>ゲスト・ソロ・コンサート・マスター</u>				
豊嶋 泰嗣				
<u>コンサート・マスター</u>				
西江 辰郎				
<u>第1ヴァイオリン</u>				
堀内 麻貴○	山田 容子○	一重 弘子	稲垣 桃子	澤田 和慶
塩澤 菜美(留)	宗田 勇司	竹中 勇人	田村 直貴	間垣 健二
松宮麻希子	山口 幸子	山本のりこ	佐久間聡一□	福田 理貴□
村越麻希子□				
<u>第2ヴァイオリン</u>				
戸松 智美※	吉村 知子※	石田はつみ	宇野沢美緒(留)	小池めぐみ
篠原 英和	砂畑 佳江	中川富美子	中矢 英視	深谷 まり
山崎 恵子	佐々木絵理子□○	中屋 響□		
<u>ヴァイオラ</u>				
篠崎 友美※	木村 恵子○	野村 圭子○	岩井香保里(留)	小山 千鶴
醍醐 紀子	高橋 正人	原 孝明	間瀬 容子	矢浪 礼子
吉鶴 洋一	錦田 知子□	松井 京子□		
<u>チェロ</u>				
川上 徹※	花崎 薫※	武澤 秀平○	貝原 正三	多田 麗王
弘田 徹	スティーヴン・フィナティ	森澤 泰	矢野 晶子	山崎 泉
<u>コントラバス</u>				
竹田 勉※	渡辺 玲雄※	飛田 勇治○	安保 龍也	石田 常文
廣嶋 嘉人	村松 裕子	森園 康一		
<u>フルート</u>				
白尾 彰※	荒川 洋*	野口 みお	和田 健二	
<u>フルート&amp;ピッコロ</u>				
渡辺 泰				
<u>オーボエ</u>				
古部 賢一※	浅間 信慶	七澤 英貴		
<u>オーボエ&amp;イングリッシュホルン</u>				
森 明子				
<u>クラリネット</u>				
重松 希巳江※	山本 正治※	澤村 康恵*	鈴木 良昭(楽友)	
<u>クラリネット&amp;バスクラリネット</u>				
鈴木 高通				

ファゴット

河村 幹子※ 坪井 隆明\* 石川 晃(留) 佐久間大作

ホルン

井手 詩朗※ 吉永 雅人※ 阿部 雅人 大野 雄太 金子 典樹  
田中 雅樹

トランペット

服部 孝也※ デイヴィット・ヘルツォーク※ 市川 和彦 大倉 滋夫 杉木淳一郎

トロンボーン

宮下 宣子\* 山口 尚人★ 奥村 晃

バストロンボーン

門脇賀智志

チューバ

佐藤 和彦

ティンパニ

川瀬 達也※ 近藤 高顯※

パーカッション

小島 光 山田 徹

パーサネル・マネージャー

五島 励二

インスペクター

吉鶴 洋一 浅間 信慶 廣嶋 嘉人

ステージ・マネージャー

成瀬 清明 飯野 秀明 保坂 徹平 小宮山雄太

ステージ

金子 康夫

ライブリアン

林 知也 中矢 英視 河田 信乃 高野 糸子 美濃部遥香

事務局

事務局長

桑原 浩

事務局次長(経理・総務)

白鳥美代子

事務局次長(事業)

安江 正也

事業

長久保宏太郎 小々馬慶太 佐藤 容子 桐原 美砂

広報・宣伝

関 顕治 小藤美由紀

経理・総務

斎藤栄実子 山本 響子

チケットボックス

袴田 史恵(室長) 茂手木はな絵 栗田 博美 加藤恵実子 馬淵 佳奈

特別参与(ハトリネージュ)

國枝 純一 米山 進 渡邊 洋

文芸部

吉井 澄雄(舞台照明家) 新井 鷗子(音楽作家)

## ■2006～2007年 日々の活動

新日本フィルハーモニー交響楽団は【音楽芸術の普及向上を図り、日本の芸術文化の発展に寄与する】ための様々な演奏会その他の諸活動、【社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及】を通じて、日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献に努める事を、その活動目的としております。

昨今物質的な豊かさよりも心の豊かさが求められておりますが、一方で日本の明日を担う若者達の心の荒廃が大きな社会問題となっています。新日本フィルハーモニーは質の高い演奏をお届けすると共に、「こころの医者」としてお役に立つ様に活動を続けていくことが、音楽を通して私共の出来る社会貢献だと考えています。これらの考え方に沿って本年度もその活動を続けてきました。

演奏会活動の一覧は、次項の公演&活動の項にてご覧頂く事ができます。

定期演奏会【トリフォニー・シリーズ】【サントリーホール・シリーズ】は【音楽芸術の普及向上を図り、日本の芸術文化の発展に寄与する】ための公演。定期演奏会【名曲シリーズ <クラシックへの扉>】はまさに【音楽の更なる普及】を目指している公演だと云う事が出来るでしょう。【社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及】は【特別演奏会】の一覧をご覧戴ければ成程とご納得頂けますでしょう。

【日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献に努める】事、「こころの医者」としてお役に立つ貢献と云えば、【アウトリーチ活動】に記載されている活動がまさにこれに当たるでしょう。

そしてこれらの演奏会の内、【音楽の更なる普及】【社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及】を目指した演奏会ではチケット価格を可能な限り低く、あるいは無料に設定しており、ご来場頂き易いようにしております。これを可能にしておりますのが皆様からご理解ご支援ご協力を頂いております特別支援金、協賛金、賛助会会費、維持会会費、新日本フィルを支えるすみだの会会費等の寄付金です。これらのご支援はオーケストラの運営に寄与しているだけではなく、聴衆の皆様にも還元されているという訳です。具体的にこれらの活動を具象化した演奏会、活動を例示してみたいと思います。

### 【音楽芸術の向上に向けて】

新日本フィルは日本で演奏されたことのない曲目の日本初演に積極的です。

例えば・・・2005年ベートヴェンの歌劇「レオノーレ」の日本初演。

本年度は、第415回定期演奏会でのドヴォルツーク作曲「プリズム(1989)」、第416回定期演奏会での、ラフ作曲交響曲第5番「レノーレ」。

2007～2008年度では、リーム作曲「変化」(2月)、シCHEDリン作曲「シヨスタコーヴィチとの対話」(4月)、シュタウト作曲「・・・まるで・・・」(6月)の日本初演が予定されています。

新日本フィルはオペラ上演に積極的です。



例えば・・・オペラハウスではないトリフォニーホール、コンサートホールというオペラ用ではないその限られた空間でオペラの上演を行っています。これはコンサート形式とは呼んでいるものの、舞台装置も整えたオペラであり、新しいものに積極的に取り組み、新しい文化の風を送り込もうとする姿勢の現れです。

本年度はワーグナーの歌劇「ローエングリン」を取り上げて好評を博しました。2007～2008年度はヨハン・シュトラウス2世の喜歌劇「こうもり」が9月に上演されました。こうしたオペラ上演は当楽団演奏会の一つの目玉に成長しています。既存の形に囚われず新しい文化を発信しようとする当楽団の姿勢の一つに現れです。



## 【日本の芸術文化の発展に寄与】

新日本フィルは若い音楽家を育てます。

例えば・・・ヴァイオリンの**アラベラ・美歩・シュタインバッハー氏**を迎えた第 401 回トリフォニーシリーズ、同じく**木嶋真優氏**を迎えた第 409 回サントリーシリーズ、**小野明子氏**を迎えた第 65 回名曲シリーズ、**佐藤俊介氏**を迎えた都民芸術フェスティバル、ピアノの**小菅優氏**を迎えた第 56 回多摩定期演奏会、同じく**岸本雅美氏**を迎えた第 68 回名曲シリーズ等々、有望なソリストとの共演を数多く行っています。

そしてジュニアオーケストラの育成支援。これは墨田区の「音楽都市構想」の中から生まれた墨田区のオーケストラですが、このオーケストラに技術指導という形で新日本フィルの演奏家が参加しています。新日本フィル所属ジュニアオケではありませんが、新しい音楽家の育成にも積極的に関わっています。

新日本フィルは新しい音楽家の発掘に力を入れています。

例えば・・・8 月 27 日に行われた**第 16 回芥川作曲賞選考演奏会**に出演、作曲家の発掘に協力、10 月 25 日には**東京国際音楽コンクール指揮部門第 2 次予選**に出演、2 月 17 日には**第 4 回東京音楽コンクール優勝者コンサート**、3 月 1 日には**ロン・ティボー国際音楽コンクール・グランドガラコンサート**にそれぞれ出演しました。

新日本フィルはジャンルの壁を取り払います。

例えば・・・クラシックというジャンルを超えた音楽普及にも積極的に取り組みます。

プロフィールにもございます**新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ**。

これは、2004 年夏に結成された新プロジェクトですが、作曲家の**久石譲**と**共同で結成**され、初代音楽監督に久石譲が就任。「**ジャンルに囚われず、世界中の良い音楽を伝えていく**」という姿勢で活動を行っています。今夏にはロックとワーグナーの融合をテーマにした「**Rock'n roll Wagner**」や「**パイレーツ・オブ・カリビアン**のテーマ」などを取り上げました。宮崎アニメ「**千と千尋の神隠し**」「**ハウルの動く城**」では**サウンド・トラック**を担当しました。

## 【音楽の更なる普及】そして【社会・地域・青少年に対する音楽の更なる普及】

新日本フィルはクラシック音楽にやさしく触れる場を提供しています。

普段クラシック音楽に触れる機会の少ない方が、クラシックに親しみ、音楽を聴く楽しさ喜びを体験していただくため**ベートーヴェン**、**シューベルト**等、親しみやすい作曲家と曲目により、音楽の普及に力を入れているのが**【名曲シリーズ <クラシックへの扉>】**です。**【新日本フィルがいっぱい】【ニューイヤーコンサート】**もこのような考え方での公演といえるでしょう。聴衆の皆様には大変好評なのは勿論のこと、色々な形で音楽を通じて日本に新しい文化の風を吹き込んでいます。

新日本フィルは子供に夢を与えるのに一生懸命です。

例えば・・・**サマーコンサート【みちよし先生の夏休み】**そして**親子コンサート**

このコンサートでは指揮者も演奏家もTシャツ姿で演奏。舞台後ろのミッキーシートに音楽を勉強している子供たちが座り、生の音を楽しんでもらいました。また会場ロビーでは「**音楽家のフリーマーケット**」を行い大盛況。子供たちに夏の思い出を一つプレゼントすることができました。又、このフリーマーケットの収益金の約 37 万円は、墨田区社会福祉協議会へ車椅子購入のための費用として寄附されました。

新日本フィルは日本全国で公演を行っています。・・・そして世界へ

新日本フィルハーモニーは定期演奏会以外にも、日本全国の地域にわたって演奏会を行っており、本年度は 16 の都県を数えました。

又、海外ツアーも過去何回か実施してきましたが、今後も世界にはばたくオーケストラとなるべく積極的な活動を続けていきます。

## ■公演 & 活動 附:自主演奏会記録、アウトリーチ活動記録

新日本フィルハーモニー交響楽団の対外的活動は、主に演奏会公演とアウトリーチ活動から成り立っています。

### 演奏会公演【自主演奏会と委託演奏会】



演奏会公演は自主演奏会と、他の団体主催で開催される委託演奏会に分類されます。

自主演奏会は(財)新日本フィルハーモニーの主催で開催される公演で、定期演奏会、特別演奏会等々の名称で開催されます。委託演奏会は他の団体主催で出演を依頼され開催される公演です。

自主演奏会は入場料収入等全ての収入そして全ての経費支出が財団の管理となります。他方、

委託演奏会においては、その収支は当然主催者の管理で行われ、財団の収入は主催者から支払われる演奏料と云うことになります。

財団の運営は、これらの収入と皆様からご理解ご支援ご協力を頂いております**特別支援金、協賛金、賛助会員会費、維持会費、新日本フィルを支えるすみだの会費等の寄付金、公的助成金**で行われています。詳細につきましては財務データ項をご参照下さい。

### 自主演奏会

自主演奏会においては、年度毎にシーズンテーマ【Season Theme】が設定され、この毎年のテーマに沿って魅惑的なシーズンプログラム【Season Program】が生まれ、演奏会が展開されていきます。

【誘惑…Seduction】これが 2006～2007 年度のテーマでした。誘惑に身を任せる喜び、それは日常が及ばない世界へと導かれる喜び、音楽作品が書かれた時代全体の物の感じ方や見方を追体験できる、そんな誘惑の旅へ皆様をいざないたい、との思いで設定されました。



新日本フィルハーモニーの自主演奏会は

定期演奏会 【トリフォニー・シリーズ】

定期演奏会 【サントリーホール・シリーズ】

定期演奏会 【クラシックへの扉・名曲シリーズ】

そして年10回の【室内楽シリーズ】を始め、【第九特別演奏会】【ニューイヤーコンサート】【サマーコンサート】【親子コンサート】等の演奏会から成り立っています。

2006～2007年度は、**定期演奏会**がそれぞれ14公演、11公演、8公演の計**33回**そして**その他特別演奏会等**が計**23回**、**自主演奏会総数**が**56回**となり、**委託演奏会** **84回**を加えた年間総公演回数**140回**の**40%**を占めました。

ちなみに**総公演回数140回**は日本のオーケストラ(日本オーケストラ連盟加盟27)において、**第5位**、公演総入場者数は**19万4千人**で、これも同じく**第5位**となっています。公演総入場者数を総公演回数で単純に除すと、一公演当たり平均入場者数は**1,385人**となります。この数にはアウトリーチ活動は勿論入っておりません。

本年2006～2007年度には、楽団の更なる向上を企画し、**出演料の高額なソリストや指揮者の方々もプログラムに組み込み**、好評を得る事が出来ましたが、これらの企画活動も、そのコストから考察すると、**特別支援企業、特別支援団体、賛助会員、維持会員、新日本フィルを支えるすみだの会**の方々のご支援ご協力がなければ不可能です。今後更なる向上を楽団員総員で図ってまいりたく、皆様方の更なるご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## アウトリーチ活動



オーケストラが学校や病院、地域の施設等に出かけるのがアウトリーチ活動。本物の音楽を子供達や地域の人々の身近にお届けしたい、演奏家と間近に接する事ができ、音楽をより親しいものに、そしてより豊かな情感のある個性、社会にしていきたい。

この活動はその形態的に、委託演奏会と同じく他の団体主催で行われるものと、委託でも正式な楽団業務でもなく、楽員を派遣している活動の二つに分けることが出来ます。

昨今物質的な豊かさよりも心の豊かさが求められておりますが、一方で日本の明日を担う若者達の心の荒廃が大きな社会問題となっています。新日本フィルハーモニーも質の高い演奏をお届けすると共に「こころの医者」としてお役に立つ様にと、このアウトリーチ活動に力を入れています。本年2006～2007年度には、地元墨田区だけでも**合計101回**の**アウトリーチ活動**を行っております。今後より充実したアウトリーチ活動を行っていく為にも、公演活動と同様に、皆様方の更なるご理解、ご支援をお願い申し上げます。



定期演奏会、アウトリーチ活動レビュー等を各記録の項に、そしてシリーズ毎の演奏会収支概略等をパトロネージュシステム項に掲載しておりますので、財務データ項と併せてご覧頂き、新日本フィルそして演奏会、アウトリーチ活動へのご理解の一助として頂けましたら幸いです。

定期演奏会【トリフォニー・シリーズ】(TS)【サントリーホール・シリーズ】(SHS) 合計 25 回

#400 2006/4/14(TS),15(TS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ヴァイオリン:ヴィヴィアン・ハグナー  
ブラームス/悲劇的序曲  
シューマン/ヴァイオリン協奏曲ニ短調  
ブラームス/交響曲第4番ホ短調

#402 2006/21(SHS)

指揮:ジェームス・ジャッド  
ヴァイオリン:渡辺 玲子  
ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調  
ショスタコーヴィチ/交響曲第7番ハ長調  
「レニングラード」

#404 2006/9/5(SHS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ハイドン/交響曲第82番ハ長調「熊」  
ベルリオーズ/夏の夜  
ラヴェル/「ダフニスとクロエ第」第1&第2組曲

#406 2006/10/13(TS),14(TS)

指揮:井上 道義  
マリンバ:安倍 圭子  
シチエドリン/管弦楽のための協奏曲第1番  
伊福部 昭/オーケストラとマリンバのための  
ラウダ・コンチェルタータ  
バルトーク/弦楽器・打楽器とチェレスタのための音楽

#408 2006/11/15(SHS)

指揮:ゾルト・ナジ  
チェロ:スティーヴン・イッサリス  
ヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲  
シューマン/チェロ協奏曲イ短調  
リスト/メフィスト・ワルツ第1番  
バルトーク/4つの管弦楽曲

#401 2006/5/25(TS),26(SHS),27(TS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ヴァイオリン:アラベラ・美歩・シュタインバッハー  
スメタナ/歌劇「売られた花嫁」序曲  
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲ニ長調  
ブラームス/交響曲第1番ハ短調

#403 2006/7/28(SHS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ソプラノ:日比野 幸 アルト:加納 悦子  
テノール:トーマス・モーザー ハリオン:クレメンス・ザンダー  
合唱:栗友会合唱団 合唱指揮:栗山 文昭  
オーガスタ・リード・トーマス/楽園への歌(日本初演)  
ベートーヴェン/交響曲第9番ニ短調「合唱付」

#405 2006/9/17(TS),18(TS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ソプラノ:松田 奈緒美  
テノール:永田 峰雄 ハリオン:クレメンス・ザンダー  
合唱:栗友会合唱団 NHK 東京放送児童合唱団  
ワーグナー/歌劇「タンホイザー」序曲  
オルフ/世俗の賛歌「カルミナ・ブラーナ」

#407 2006/10/23(SHS)

指揮:クリスティアン・アルミンク  
ピアノ:伊藤 恵  
武満 徹/グリーン  
ガーシュウィン/ラプソディ・イン・ブルー  
マーラー/交響曲第1番ニ長調「巨人」

#409 2006/12/6(SHS)

指揮:ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ  
ヴァイオリン:木嶋 真優  
ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲第1番イ短調  
ショスタコーヴィチ/交響曲第10番ホ短調

**#410 2006/12/17**(SHS),**21**(TS),**22**(TS)

指揮:小澤 征爾

ピアノ:ユンディ・リ

プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第2番ト短調(17日)

ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調(21,22日)

チャイコフスキー/交響曲第1番ト短調

「冬の日の幻想」

**#411 2007/1/19**(SHS)

指揮:クリスティアン・アルミンク

ソプラノ:森 麻季

ピアノ:松本 和将

J.S.バッハ/教会カンタータ

「もろびとよ歎呼して神を迎えよ」

バルトーク/ピアノ協奏曲第3番

シューマン/交響曲第3番変ホ長調「ライン」

**#412 2007/1/26**(TS), **27**(TS)

指揮:フランス・プリュッヘン

ベートーヴェン/バレエ音楽

「プロメテウスの創造物」

シューマン/交響曲第4番ニ短調

**#413 2007/2/7**(SHS)

指揮:フランス・プリュッヘン

モーツァルト/交響曲第39番変ホ長調

モーツァルト/交響曲第40番ト短調

モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲

**#414 2007/3/21**(TS),**24**(TS)

指揮:クリスティアン・アルミンク

ローエン格林:ステイー・アナーセン

エルザ:メラニー・ディーナー

オルトルート:アレクサンダー・ペーター・サマー

ハインリヒ1世:トマシュ・コニエチュニ

テルラムント:セルゲイ・レイフェルクス

合唱:栗友会合唱団 合唱指揮:栗山 文昭

ワーグナー/歌劇「ローエン格林」

(コンサート・オペラ形式)

**#415 2007/3/30**(SHS)

指揮:クリスティアン・アルミンク

ソプラノ:菅 英三子 アルト:永島 陽子

テノール:吉田 浩之 バス:河野 克典

合唱:栗友会合唱団 合唱指揮:栗山 文昭

ドゥルックマン/プリズム(日本初演)

モーツァルト/レクイエム ニ短調

**【定期演奏会 #410】 review**

桂冠名誉指揮者・小澤征爾が約2年ぶりに新日本フィルの定期演奏会に登場。元気な姿を見せるだけでなく、音楽的にも充実した演奏を聴かせてくれた。「ラヴェルのピアノ協奏曲」とチャイコフスキーの「交響曲第1番《冬の日の幻想》」。ラヴェルの協奏曲で独奏を努めたユンディ・リ。彼は第3楽章で優れた技巧性を示したが、内容的にはきれいな演奏を超えるものではなかった。小澤は、暗譜でピアニストの指を見ながら指揮をし、抜群のシンクロナイズを披露。ピアノ協奏曲というよりは、ピアノを含む管弦楽曲のようだった。そして小澤は、様々な楽器を明晰に描き、軽快で生き生きとした音楽を作り上げていた。

小澤はチャイコフスキーの若書きの交響曲で彼の後の作品を思わせるようなスケールの大きな音楽を聴かせてくれた。強弱などの表情がはっきりとしていて曖昧がない。アダージョ楽章では濃密なエスプレッシオーヴォを堪能することができた(特に弱音を活かしたオーボエのソロが見事)。小澤のカンタービレは、旋律をたっぷりと歌わせるが、他のパートにもちゃんと目配りがなされていて、演奏が立体的であるところが素晴らしい。

定期演奏会【名曲シリーズ <クラシックへの扉>】 合計8回

#60 2006/4/8

指揮:クリスティアン・アルミンク

チェロ:林 峰男

ドヴォルジャーク/チェロ協奏曲ロ短調

ストラヴィンスキー/「ペトルーシユカ」

#61 2006/6/24

指揮:ジェームス・ジャッド

ピアノ:宋 思衛

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番変ホ長調「皇帝」

ムソルグスキー・ラベル編/組曲「展覧会の絵」

#62 2006/7/22

指揮:クリスティアン・アルミンク

オーボエ:古部 賢一 (NJP 主席オーボエ奏者)

ブラームス/大学祝典序曲

R. シュトラウス/オーボエ協奏曲ニ長調

R. シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」

#63 2006/9/9

指揮:クリスティアン・アルミンク

ピアノ:児玉 桃

ベートーヴェン/劇付随音楽「エグモント」序曲

ラヴェル/ピアノ協奏曲ト長調

ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調

#64 2006/10/7

指揮:キンボー・イシイ=エトウ

ピアノ:岡田 博美

スメタナ/歌劇「売られた花嫁」序曲

ラフマニノフ/パガニーニの主題による狂詩曲

チャイコフスキー/交響曲第5番ホ短調

#65 2007/1/13

指揮:クリスティアン・アルミンク

ヴァイオリン:小野 明子

ウェーバー/歌劇「魔弾の射手」序曲

パガニーニ/ヴァイオリン協奏曲第1番ニ長調

ウェーバー/歌劇「オベロン」序曲

デュカス/交響詩「魔法使いの弟子」

#66 2007/2/3

指揮:フランス・ブリュッヘン

ハイドン/交響曲第104番ニ長調「ロンドン」

ベートーヴェン/交響曲第1番ハ長調

#67 2007/3/10

指揮:クリスティアン・アルミンク

ヴィオラ:篠崎 友美(NJP) チェロ:花崎 薫(NJP)

リスト/交響詩「レ・プレリュード」

チャイコフスキー/祝典序曲「1812年」

R. シュトラウス/交響詩「ドン・キホーテ」

## 自主演奏会【室内楽シリーズ 2006】 合計 10 回

### #1 2006/4/7

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 19 番ハ長調  
ブラームス／弦楽六重奏曲第 1 番変ロ長調

### #2 2006/5/8

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 20 番ニ長調  
ベートーヴェン／七重奏曲変ホ長調

### #3 2006/6/23

モーツァルト／5つのディヴェルティメント第 2 番ハ長調  
フランセ／ディヴェルティメント  
ベートーヴェン／六重奏曲ホ長調

### #4 2006/7/21

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 18 番イ長調  
シューベルト／ピアノ五重奏曲イ長調「ます」

### #5 2006/8/28

モーツァルト／ピアノと管楽のための五重奏曲変ホ長調  
ドヴォルジャーク／弦楽六重奏曲イ長調

### #6 2006/9/8

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 14 番ト長調  
ブラームス／ホルン三重奏曲変ホ長調

### #7 2006/10/6

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 16 番変ホ長調  
ブルックナー／弦楽五重奏曲

### #8 2006/11/1

モーツァルト／フルート四重奏曲第 2 番ト長調、第 3 番ハ長調  
メシアン／世の終わりのための四重奏曲

### #9 2007/1/24

モーツァルト／弦楽五重奏曲第 3 番ト短調  
タファネル／木管五重奏曲

### #10 2007/2/19

モーツァルト／弦楽四重奏曲第 15 番ニ短調  
シェーンベルク／弦楽六重奏のための「浄夜」

## 【定期演奏会 #405】 review

新日本フィルの今回の定期では、クリスティアン・アルミンクの指揮、松田奈緒美のソプラノ、永田峰雄のテノール、クレメンス・ザンダーのバリトン、栗友会合唱団の合唱、栗山文昭の合唱指揮、NHK 東京児童合唱団の合唱、金田典子の児童合唱指導という陣容によって、ワーグナーの「歌劇《タンホイザー》序曲」(ドレスデン版)、オルフの《カルミナ・ブラーナ》が演奏された。

新日フィルの音楽監督としては 3 シーズン目を迎えたアルミンクは、このオケをほぼ完全に掌握し、自己の手兵として自在に操ることができる状態に達したようだ。当夜のオルフは、特にそれを物語っていた内容であった。アルミンクは、作品の細部に至るまで入念に目を行き届かせながら、この魅惑的な大作の聴かせどころを巧みに把握した、ダイナミックで効果的な再現を実現させ、聴衆を大きく沸かせていた。シャープで官能的な冴えをみせた松田のソプラノや、表現豊かなザンダーのバリトンも出色であり、合唱陣も健闘が称えられるべき合唱を聴かせていた。アルミンクは、ワーグナーではドライで緻密なアプローチを展開させ、なかなか理知的で秀徹した演奏解釈を打ち出していた。

【特別演奏会】 合計 10 回

2006/4/22 【親子コンサート】

指揮:下野 竜也 ゲスト:古今亭 志ん輔

ゴールドスミス/「スーパーガール」より“メイン・タイトル”

カバレフスキー/組曲「道化師」より“道化師のギャロップ”

グリーグ/「ペール・ギュント」第1組曲より“アニトラの踊り”

久石 譲/「となりのトトロ」より“ねこバス～終曲” ほか



2006/7/30 【大人のための音楽教室】 ペンション・ファン・コンサート

指揮:クリスティアン・アルミンク ゲスト:古今亭 志ん輔

スッペ/喜歌劇「軽騎兵」序曲

J・シュトラウスII/無窮動、ワルツ「美しく青きドナウ」

ヨゼフ・シュトラウス/ポルカ「憂いもなく」

ラベル/「ボレロ」

2006/8/13 【新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ】



サイコ・ホラーナイト 真夏の夜の悪夢

音楽監督・指揮:久石 譲 合唱:栗友会合唱団

管弦楽:新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ

久石 譲/ワールド ドリーム

久石 譲/ヤマト組曲(映画「男たちの大和」より)

オルフ/「カルミナ・ブラーナ」

久石 譲/イブ(映画「パラサイトイブ」より)

2006/8/20 【新日本フィルサマーコンサート～みちよし先生の夏休み】



指揮:井上 道義

ドビュッシー/「牧神の午後への前奏曲」

マックス・タイナー/「夏の日の恋」

ヴィヴァルディ/「四季」“夏”より

ヨゼフ・シュトラウス/ポルカ「風車(水車)」

ヨハン・シュトラウスII/ポルカ「クラブフェンの森で」

ドヴォルジャーク/序曲「謝肉祭」

成田為三/「浜辺の歌」

2006/9/3 【新日本フィルがいっぱい】 “誘惑”シーズン開幕への前奏曲

指揮:クリスティアン・アルミンク

ヴァイオリン:豊嶋 泰嗣(NJP ゲストソロコンサートマスター) オーボエ:古部 賢一(NJP 首席オーボエ奏者) ホルン:吉永 雅人(NJP)

ヴィバルディ/ヴァイオリン協奏曲集「四季」より「春」

アルビノーニ/オーボエ協奏曲ニ短調

モーツァルト/ホルン協奏曲第2番変ホ長調

チャイコフスキー/交響曲第5番ホ短調



**2006/12/3 【シヨスタコーヴィチ生誕 100 年記念特別演奏会】**

指揮:ムスティスラフ・ロストロポーヴィッチ  
ピアノ:上原 彩子 トランペット:服部 孝也(NJP 首席トランペット奏者)  
シヨスタコーヴィチ/ピアノ協奏曲第1 番ハ短調  
シヨスタコーヴィチ/交響曲第8 番ハ短調



**2006/12/12、23、27 【第九特別演奏会】**

指揮:広上 淳一  
アルト:黒木 香保里 ソプラノ:大隈 智佳子 テノール:佐野 成宏  
バリトン:堀内 康雄合唱:栗友会合唱団 合唱指揮:栗山 文昭  
シCHEDリン/ベートーヴェンの第9 交響曲のための前奏曲(日本初演)  
ベートーヴェン/交響曲第9 番ニ短調「合唱付」



**2007/1/3 【ニューイヤーコンサート】**

指揮:広上 淳一 司会:榎本 有紀子  
ヴァイオリン:堀内 麻貴(NJP) 山田 容子(NJP)  
千住 明/ドライ アンド ウェット  
レハール/ワルツ「金と銀」  
ヨゼフ・シュトラウス/鍛冶屋のポルカ  
ヨハン・シュトラウスII/ワルツ「ウィーン気質」「皇帝円舞曲」  
加速度円舞曲  
バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲 ほか



**【定期演奏会 #414】 preview**

演出付きコンサート・オペラ形式のワーグナー/歌劇「ローエングリン」

昨年2月に新日本フィルハーモニー交響楽団と共に「火刑台上のジャンヌ・ダルク」を上演し、第3回三菱信託音楽奨励賞の受賞を初め、「さまよえるオランダ人」をフランクフルトで成功させるなど、オペラ指揮者としても活躍の場を拓けているクリスティアン・アルミンク。今年は、音楽監督を務めている新日本フィルと共に、いよいよワーグナー・オペラ「ローエングリン」(コンサート・オペラ形式)に挑戦する。ドイツ音楽を得意とするアルミンクは、新日本フィルと共に、これまで「ドイツ的な響き」を探求してきたという。また、出演歌手も自らが立ち合うオーディションで決定した「ドイツ国王ハインリヒ1世:トマシュ・コネチュニ(Bs Br)、ローエングリン:ステイー・アナーセン(T)、エルザ・フォン・ブラバント:メラニー・ディーナー(S)、フリードリヒ・フォン・テルラムント:セルゲイ・レイフェルクス(Br)、オルトルート:アレクサンドラ・ペーターザマー(Ms)、国王の伝令官:石野繁生、他)。今回、演出するのは、飯塚励生。現在ニューヨークの外ロバタンでも活躍中で、8年前にアルミンクが指揮者助手を務めた時に飯塚が演出助手を務めていたという縁もあったという。特に「ローエングリン」では第2幕が好きだというアルミンクは、「この演出は新日本フィルが掲げている『誘惑』というテーマにもマッチしており、何を、誰が、どう誘惑していくのか楽しみだし、ワーグナーの深い音楽を表現していきたい。」と意気込みを語った。また、「『ローエングリン』では、合唱の力もとても必要に感じている。」と述べ、既に、「ジャンヌ・ダルク」での共演で十分期待に応えていた栗山文昭率いる栗友会合唱団が合唱を固めるとあれば、まさに鬼に金棒であろう。今年10周年を迎えるすみだトリフォニーホールに彩りを添えることは間違いないだろう。

## 【アウトリーチ活動】 合計 101 回

### 2006/11/5 【コミュニティ・コンサート】 2 回



墨田区立東吾嬬小学校、言問小学校体育館に於いて開催。  
普段オーケストラを聴いていない方々にも気楽にオーケストラ  
を楽しんで頂く機会を設けました。

指揮：梅田 俊明

ファゴット：坪井 隆明(NJP) ホルン：阿部 雅人(NJP)

モーツァルト／歌劇「劇場支配人」序曲

ヴィヴァルディ／ファゴット協奏曲ホ短調

チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より「情景」「ワルツ」「四羽の白鳥の踊り」ほか

### 2006/11/9 【墨田区・オーケストラ鑑賞教室 小学生】 2 回

指揮：梅田 俊明

オルガン：室住 素子

アンダーソン／フィドル・ファドル 楽器解説、オルガン協奏曲 ほか

### 2007/1/31 【墨田区・オーケストラ鑑賞教室 中学生】 2 回

指揮：金 洪才

オルガン：室住 素子

アンダーソン／舞踏会の美女 楽器紹介

チャイコフスキー／バレエ音楽「白鳥の湖」より「情景」「ワルツ」「四羽の白鳥の踊り」ほか

### 【すみだふれあいコンサート】 19 回

墨田区内の福祉施設・老人ホームに楽員を派遣

### 【音楽授業への参加】 76 回

墨田区内の小学校 28 校、中学校 11 校の音楽授業に楽員延 99 人を  
派遣



### 【アウトリーチ活動】 review

アウトリーチ活動を開催する毎に数多くのお礼のお手紙を頂き、これが弊楽団の励みとなっています。

今回は墨田区立押上小学校の生徒さんのお手紙を紹介致します。(一部抜粋)

■新日本フィルの皆さんへ(墨田区立押上小学校 3 年生 女の子)

最初、私は音楽室に入るとき少しドキドキしました。どんな人がいるか分からなかったので緊張しました。授業が始まったら、司会の方が「初めは戦いの組曲を演奏します。」と言ったので、どんな曲？と思いました。演奏が始まったら、わあーすごい！大きい音がする！すごく明るくて楽しい曲だったので、私もリズムに乗ってしまい面白かったです。最初は緊張していたことも忘れて、音楽は凄いなーと思いました。私の知っている曲も演奏してくれて、そのなかでも「パフ」が大好きだったのでとても良かったです。また、新日本フィルの人たちと一緒に合奏をしたら上手く演奏ができました。ありがとうございました。

## 【委託演奏会】 合計 84 回

委託演奏会は様々な種類のものがありますが、本年度回数を種別で大まかに分類してみると次のようになります。

一般公演 64 回、音楽教室 3 回、青少年ファミリー向 4 回、放送 1 回、録音 7 回、オペラ 5 回となり、**合計 84 回**を数えます。

又、その開催地も首都圏だけでなく、様々な地域に活動を広げています。

**東京 61 回、神奈川 6 回、静岡 3 回**をはじめ、**千葉、茨城、埼玉、栃木、長野、山梨、奈良、岐阜、山形、岩手、新潟、富山、三重の 13 県**で 1 回ずつ、**16 の都県**で合計 84 回となっています。

## 【シリーズ別来場者数】

シリーズ名	回数	総席数	来場者数	来場率
トリフォニー	14	25,214	22,156	87.8%
サントリーホール	11	22,066	20,352	92.2%
名 曲	8	14,408	14,381	99.8%
室 内 楽	10	2,520	2,436	96.7%
そ の 他	13	18,414	15,421	83.7%
自主公演計	56	82,622	74,746	90.5%
委託公演計	84	145,410	119,810	82.5%
総 計	140	227,792	194,556	85.4%

## 【音楽指導実施校】

梅若小学校、押上小学校、菊川小学校、錦糸小学校、小梅小学校、言問小学校、隅田小学校  
外手小学校、第一吾嬭小学校、第三吾嬭小学校、第四吾嬭小学校、第一寺島小学校  
第二寺島小学校、第三寺島小学校、立花小学校、中和小学校、堤小学校、中川小学校  
業平小学校、曳舟小学校、二葉小学校、本所小学校、緑小学校、八広小学校、柳島小学校  
横川小学校、両国小学校 【50 音順】

吾嬭第一中学校、吾嬭第二中学校、堅川中学校、鐘淵中学校、錦糸中学校、墨田中学校、  
立花中学校、寺島中学校、東吾嬭中学校、文花中学校、文花中学校(夜間)本所中学校、  
向島中学校、両国中学校 【50 音順】

## ■パトロネージュシステム 附:演奏会収支概略

新日本フィルハーモニー交響楽団の運営実績は財務データ項でご理解賜りたく存じますが、データの通り、オーケストラ運営にかかる経費をチケット収入や外部出演料だけでは賄いきれていないのが実情です。幸い多くの企業、個人の皆様からの様々なご支援、浄財で運営を成り立たせております。

しかしながらこれを安定させ、更なる「演奏の充実」を図る為にはより強固な基盤にしていける必要があります。そしてその高められた音楽性を背景に音楽文化をより広く普及させていく事が私共の使命であり、存在意義だと思っております。私共のこれらの活動がきっと日本の社会を心豊かなものにするのだ、と願ひそして信じ、日々活動しております。

又、昨今物質的な豊かさよりも心の豊かさが求められておりますが、一方で日本の明日を担う若者達の心の荒廃が大きな社会問題となっています。新日本フィルハーモニーは質の高い演奏をお届けすると共に、「こころの医者」としてお役に立つ様に活動を続けていくことが、音楽を通して私共の出来る社会貢献だと考えています。

このような状況の中で、新日本フィルの活動理念である【音楽芸術の普及向上を図り、日本の芸術文化の発展に寄与する】ための様々な演奏会活動、新日本フィルの活動事業の一つである【青少年に対する音楽の普及活動】を通じて日本の次代を担う世代の健全な成長への貢献に努めることに、深く共感頂ける企業、個人の皆様にパトロネージュシステムをご案内しております。

このパトロネージュシステムの趣旨をご理解下さりご支援頂きます事は、**各企業、個人の皆様方にとりましても社会貢献になると信じております**。又その企業姿勢を社会に示す事ともなり、企業イメージ向上にもつながるものであると信じております。当然ながらそれに違わないような活動をお約束し、その結果や運営の状況をご報告していく所存でおります。

私たちはより多くの素晴らしいソリストや指揮者の方々をプログラムに組み込んでいきたい。そしてより腰を据えて行える自主演奏会を増やして、芸術性の更なる向上と日本社会への音楽普及を計りたい。又、青少年に対する音楽の普及活動をより強力に推進すべく、アウトリーチ活動も自主企画として行っていきたい。そしてその根底を担う楽団員の待遇面でもせめて日本の標準値まで持っていききたい等々、目標は多々ございますが、現状の運営面から考察すれば、より効率的に運営するといたしましても非常に難しい状況です。

これらをご賢察頂き、弊社パトロネージュシステムへのご理解ご協力をお願い申し上げます。

又、本年度戴きました皆様のご支援が、演奏会運営に於きましてどのような比率を占めているかをご理解頂き、今後の更なるご支援へのご参考の一助となりますよう、定期演奏会収支概略を併せて簡単なグラフで記載させて頂いております。

## パトロネージュシステム

新日本フィルでは皆様から広くご支援をいただけますよう次のような会員システムをご用意させて頂いております。

### 特別支援企業・特別支援団体

新日本フィルの運営の基盤を中核となって支えていただく企業・団体の皆様をお願いしているシステムです。このご支援は、主に新日本フィルの存立の基盤とその良心の証である「定期演奏会」活動を支えるために運用させていただいております。

### 賛助会員 (ご支援額 法人1口50万円 個人1口25万円)

新日本フィルの運営の基盤を幅広く多くの企業や団体、そして個人の皆様に支えていただくシステムです。

自主企画演奏会へのご案内	会員の為のコンサートや楽団員との懇親会へのご案内
公開リハーサルへのご招待	自主企画演奏会の入場券の優先予約と割引販売
新日本フィル定期演奏会のプログラム及びホームページ(法人のみ)にご芳名の掲載	

### 維持会員 (ご支援額 個人1口1万円)

新日本フィルがより良いオーケストラに成長することを温かく見守っていただいている、いわば後援会、ファンクラブといった性格のもので、個人の皆様が対象になっています。

公開リハーサルへのご招待	会員の為のコンサートや楽団員との懇親会へのご案内
自主企画演奏会の入場券の優先予約	新日本フィル定期演奏会のプログラムにご芳名の掲載

### 新日本フィルを支えるすみだの会

新日本フィルが本拠地を置いている墨田区を中心とした、企業や個人の皆様方のご支援を願うためのシステムです。

#### 「企業・団体の皆様」

(ご支援額 特別法人スポンサー1口100万円、法人スポンサー1口50万円、法人サポーター1口10万円)

自主企画演奏会へのご案内	会員の為のコンサートや楽団員との懇親会へのご案内
公開リハーサルへのご招待	自主企画演奏会の入場券の優先予約と割引販売
新日本フィル定期演奏会のプログラム及びホームページにご芳名の掲載	
室内楽コンサートのご提供(特別法人スポンサーのみ)	

#### 「個人の皆様」(ご支援額 スポンサー1口25万円 サポーター1口1万円)

公開リハーサルへのご招待	自主企画演奏会の入場券の優先予約
自主企画演奏会へのご案内	会員の為のコンサートや楽団員との懇親会へのご案内
自主企画演奏会へのご案内と入場券の割引販売(スポンサーのみ)	
新日本フィル定期演奏会のプログラムにご芳名の掲載	

## 定期演奏会収支概略【トリフォニーシリーズ、サントリーシリーズ】

### 定期演奏会／1回の平均支出金額



支出15,627千円

トリフォニーシリーズ、サントリーシリーズに於ける定期演奏会1回の本年度平均支出は**1,562万7千円**となっております。

これが入場料収入、広告収入そして公的補助であります文化庁補助金の収入のみで賄う事ができれば、演奏会自体が財政的には自立でき、オーケストラの自立につながる訳です。

次に定期演奏会1回の本年度平均収入をしてみましょう・・・

### 定期演奏会／1回の平均収入金額



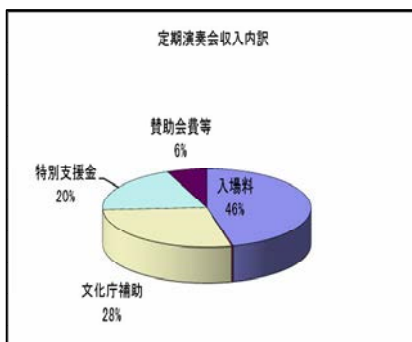
収入(会費・特別支援除)  
11,629千円

定期演奏会1回の本年度平均収入は、皆様にご支援頂いております支援金、賛助会費を除きますと**1,162万9千円**となります。

単純にこの収入額から上掲の支出を差し引きますと、399万8千円の赤字です。**チケット料金の増額**でこの赤字を補おうとすれば、単純平均値で1枚当たり2,400円の増額が必要となります。現在の平均チケット金額が4,240円ですから56%の増加率となってしまいます。このような事態を回避し現行のチケット価格を実現できているのは、皆様からの**特別支援金、賛助会費等**があつてこそだと言える訳です。

特別支援金をトリフォニーシリーズ、サントリーシリーズへの支援金と換算いたしますと、定期演奏会1回当たり、**特別支援金310万円、賛助会費97万円(※)、合計407万円**を定期演奏会の収入として充当する事となります。これによりややく**合計1,570万円**となり、上掲支出に見合う収入を確保した格好となります。

(※) 賛助会費 97万円 = 賛助会費等の年間合計金額 × 当該定期演奏会楽団稼働日 / 楽団の年間稼働日合計



これらを各比率で見ると、**特別支援金が20%、賛助会費が6%**で、**合計26%**を占めるに至っております。

如何に皆様のご協力ご支援が、演奏会運営に重要なファクターであるかをご理解頂ける事と存じます。

次に全ての自主演奏会及び委託演奏会1回当たりの収支内訳を掲げてみます。

### 自主演奏会収支概略

#### 自主演奏会／1回の平均支出金額



演奏会1回当たりの支出が**1,332万6千円**となっており、ここでもそれに見合う収入は**公的支援、協賛金、賛助会費等**を加えさせて頂きませんと達成できません。

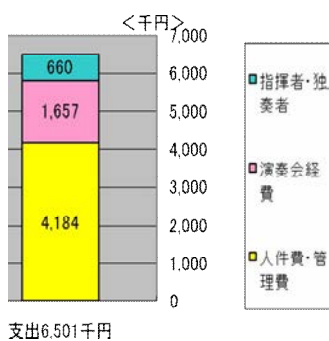
#### 自主演奏会／1回の平均収入金額



ここでは大きな収入の源となっておりますが、**協賛金収入**です。そして定期演奏会と同様に**賛助会費**も大きなウエイトを占めているのが実情です。定期演奏会の項で記述の通り、**協賛金と賛助会費等、民間支援**を合わせまして**392万円**余りを収入に組み込み運営しております。より皆さまに親しみやすいチケット価格に設定するにはこれらの支援金が不可欠です。ちなみに現在の自主演奏会平均チケット価格は5,880円となっています。

### 委託演奏会収支概略

#### 委託演奏会／1回の平均支出金額



年間84回を数える委託演奏会になりますともう少し状況が厳しくなっています。1回当たりの平均支出金額は**650万円**と、自主演奏会よりは当然少ないのですが当然入場料収入もございませんので、**賛助会費**に大変助けられておりますのが実情です。

#### 委託演奏会／1回の平均収入金額



**賛助会費**より1回当たり**61万円**を収入に繰り入れさせて頂きましても、**45万円程の収支不足**が生じております。

■ 財務データ

貸借対照表の要旨

平成 19 年 3 月 31 日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
流動資産	221,658	流動負債	251,275
固定資産	117,350	固定負債	20,811
基本財産	100,000	退職給付引当金	20,811
特定資産	10,863	負債合計	272,086
その他資産	6,486	<b>【正味財産の部】</b>	
		正味財産	66,922
		正味財産合計	66,922
資産合計	339,008	負債及び正味財産合計	339,008

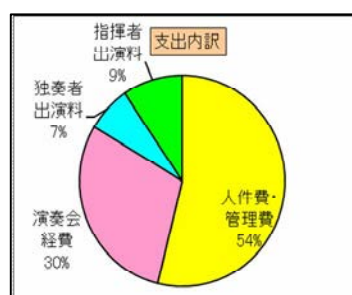
正味財産増減計算書の要旨

自 平成 18 年 4 月 1 日

至 平成 19 年 3 月 31 日

(単位:千円)

科 目	金 額
基本財産運用益	47
受取会費・寄付金等	214,259
事業収益	936,705
雑収益	5,031
経常収益合計	1,156,144
事業費	1,057,136
管理費	91,680
経常費用合計	1,148,817
当期経常増減額	7,327
経常外増減	—
当期正味財産増減額	7,327





Annual Report 2006~2007

発行 財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-3

すみだトリフォニーホール内

Tel. 03-5610-3820 [www.njp.or.jp](http://www.njp.or.jp)